



慶應義塾普通部

KEIO FUTSUBU SCHOOL



学校案内 2025-2026

✂ 慶應義塾普通部の教育

「なんで人を殺しちゃいけないの？」子供がこんな質問をしてることがあります。聞かれた大人はどう答えようか、ちょっと考え込んでしまうかもしれません。

もちろんこの問いに正解はありません。人によって答えは様々です。この問いだけではなく、世の中には正解のない問いがたくさんあります。ひとつわかることは、この質問が出てくる時点で、その子のいるところは平和だということです。戦闘地域で空爆を受けている子供たちからはこの言葉はできません。その子供が言うなら「なんで僕を殺そうとするの？」でしょう。冒頭の言葉言うことができる人は、平和な場所にいて恵まれているということです。でも、そういうことにはなかなか気づくことができません。それはこの問いも同じです。

「なんで勉強しなきゃいけないの？」この質問ができる人も恵まれています。貧しかったり、戦争のため、あるいは政治体制のために、勉強したくてもできない子供が世界中にはたくさんいます。その子供たちはきっとこういうでしょう。

「なんで勉強しなきゃいけないの？」その子供たちはこう考えます。「勉強して知識と知恵がつけば、この国をもっとよくできる」あるいは「この国から抜け出せる」そう思ってます。

この冊子を読んでいる人たちは、誰かに殺される心配もなく、安心して勉強ができる環境にいるのでしょう。恵まれているということです。

では、そんな風に恵まれている人は何をしたらいいのでしょうか。まずは、知恵をつけ経験をもっと積んでほしいと思います。世の中がどんなふうになり立っているのかを知り、世界のありさまを経験すること。いろいろなことを知り、経験していくうちに、きっとやりたいことが出てきたり、問題意識を持って事に当たるようになるでしょう。もちろん、そこまで行くのは先のこともかもしれませんが、まずは自分の力をつけてほしいと思います。普通部では、そのような力をつけるために「労作教育」という教育方針を立てています。

労作教育とは、時間を惜しまずに自分の心身を思う存分に活動させて、その中で自ら考え自主的な選択や決定ができるようにする教育を指します。大学までの一貫教育制度のため、普通部生には時間が潤沢にあります。その時間を使って努力と工夫を重ねながら何かを作り上げ成果を得ること。これを「労作」と呼んでいます。労作展はこの労作教育の理念を形にしたものです。



普通部長 森上 和哲

労作する過程で普通部生は、何を作り上げるのか、どのように作るのか、材料はどうするのか等さまざまなことを自分で決めていきます。たとえば絵を描くとしても、どんな絵を描くのか、道具は何を使って描くのか、どのくらいの大きさの作品にするのか。決めるべきことはたくさんあります。このように何かをするということは「決めること」「決断」の連続です。多くの決断を積み重ねることが労作につながっていきます。

普通部では授業だけではなく、労作展、目路はるか教室、運動会、音楽会などの課外活動、さらに部会活動など多くの教育活動を行っています。これらの活動を行っていく過程で、普通部生は労作を重ねながら、自ら学び自ら考える力をつけていきます。課題や作品、あるいは部会活動であればチームなど様々なものを作り上げながら、彼らは自分自身をも作り上げていきます。何かを作る過程で、物事への取り組み方、筋道の立て方などを身につけ、それを自分の力としていきます。受験のない豊かな時間の中で普通部生は自分自身を作り上げる作業に没頭します。でも、一人きりではありません。すぐ横には友人がいます。その友人の行っていることから刺激を受けます。お互いに切磋琢磨しながら、高めあいながら自分の力をつけていくのです。

正解のない時代、自ら考え労作して力をつけ、自分が目指すところを探していく。人が作った問いに答えるのではなく、自ら問いを立て、答えを探す。普通部はそんなことができる人の育成に心を砕いていきたいと考えています。

Contents

慶應義塾普通部の教育.....	1
慶應義塾と普通部の歩み.....	2
教科教育.....	3
選択授業.....	7
宿泊行事・国際交流.....	8
普通部生の1日と1年.....	9
労作展.....	11

目路はるか教室.....	13
部会活動.....	15
施設.....	17
ウェブサイト・出願・入学.....	19
学費・費用.....	20
普通部の特色.....	21
進学.....	22

慶應義塾と普通部の歩み

江戸時代

1858 福澤塾の始まり

福澤諭吉が江戸築地で蘭学塾を開きました。福澤23歳の時でした。これが慶應義塾の始まりです。福澤の活動と慶應義塾の歴史がそのまま日本の近代教育の歴史へとつながります。



1859 蘭学から英学へ

福澤は開港直後の横浜を訪れ、それまで学んでいたオランダ語の実用性の低さを知り、英語を学ぶことを決心しました。翌1860年に咸臨丸が渡米した時も自ら進んで参加するなど、福澤は幕末に計3回欧米を巡歴し、塾も英学塾に転換しました。

1868 慶應義塾と命名

当時の元号にちなんで塾名を「慶應義塾」と定め、福澤個人の私塾が福澤と同志門下生との共同結社になりました。旧暦5月15日、上野彰義隊の戦いの時には、砲声を耳にしながら、福澤はウェーランド経済書の講義を続けました。1871年にはそれまでの芝新銭座から、三田の現在地に移転しました。

明治時代

1890「大学部」の開設と「普通部」

新しく「大学部」が開設されるに際して、福澤塾以来の課程を「普通部」と称することになりました。

1898 一貫教育体制の確立

慶應義塾に幼稚園（初等教育）から大学科に至る一貫教育の体制が確立しました。この時、普通部は中等教育の課程（5年制）となり、「普通学科」と改称しました。（翌1899年に再度「普通部」となる。）

1916 全国中等学校野球大会で普通部優勝

第2回全国中等学校野球大会（現在の夏の甲子園大会）で普通部が優勝を果たしました。

1917 綱町へ移転

普通部は三田綱町（現中等部所在地）に三田山上から移転し、ここで多くの伝統が生まれました。



大正時代

1927 労作展始まる

第1回の労作展覧会（労作展）が開かれました。これは前年に文部省令に先立って導入された手工科（現在の技術科）分野の作品や図画を中心に、研究論文などを展示する試みで、今日もそのスタイルと精神の継承に努めています。

昭和時代

1947 新制中学校となる

学制改革により、それまでの修業年限5年の中学（旧制中学）から、修業年限3年の新制中学となりましたが、伝統ある「普通部」の名称はそのまま受け継がれました。

1951 日吉へ移転

現在の日吉の丘に新校舎の一部が完成し、戦災のため一時期身を寄せていた天現寺の幼稚園から、3年生が移転しました。翌年には全学年の移転が完了し、スキー学校が始まりました。1957年には水泳学校（現在の海浜学校）も始まりました。



1969 選択授業の設置

既存の教科の枠組みにとらわれず、生徒の主体的な選択と取り組みを尊重する教育を実現するため、芸術分野の科目を中心に選択授業が始まりました。6講座からスタートした選択授業は、2024年度現在、18講座が開講されています。

平成時代

1998 普通部百年

中等教育としての普通部が百年を迎え、記念式典が行われました。また、「目路はるか教室」も始まりました。2001年には1年生の20人学級がスタートし、9月には新本館が完成しました。（2005年から24人学級へ移行。）

2008 慶應義塾創立150年

日吉キャンパス陸上競技場をメイン会場に「創立150年記念式典」が举行されました。義塾社中一同が集い、創立150年を祝うと共に「未来への先導」を果たす学塾として社会に貢献し続けることを誓いました。

2015 普通部新本校舎竣工

1951年以来数多くの普通部生を見守ってきた白垂の校舎を受け継ぎ、2月に新本校舎が竣工しました。多様な授業形態・学習スタイルに対応する教室、設備を整えた校舎が誕生し、次の時代を見据えた新たな普通部が動き始めました。



令和時代

2023 普通部百二十五年

中等教育としての普通部が百二十五年を迎えました。百二十五年記念式典・特別行事を実施しました。



受験から離れて、学問の本質を探究する

慶應義塾大学への進学を前提に、広く深い学識の修得を目指しています。そのためどの科目も満遍なく学ぶとともに、基礎・基本は重視しつつ、学問の本質に迫る授業を心掛けています。授業は講義形式だけではなく、様々な形態を取り入れており、生徒の高い能力に合わせて高度な内容も扱います。2020年度から一人一台のタブレット端末を導入し、活用しています。

週あたりの授業時数

	国語	社会	数学	理科	英語	芸術	保健体育	コンピュータ	選択	教養	計
1年	6	5	4	5	5	3	4	1	0	1	34
2年	5	5	6	4	6	4	3	0	0	1	34
3年	5	5	5	4	6	3	3	0	2	1	34

国語科

豊かな言葉の使い手になること、そして適切な方法で表現できるようになることを目指しています。

1年生では、学習の根幹となる力を養います。文章読解のほか、文法学習や漢字学習を行います。書道に加え、読書推進と調べ方学習の「図書室の時間」を設けているのも特色です。

2年生では1年次の基礎を踏まえ、学習を深めていきます。たくさんの文章に触れて読む力をつけながら、書く力も向上させていきます。同時に、口頭による表現力、思考力も磨きます。

3年生ではより高いレベルの教材を通し、発展的な表現や創作につなげていきます。漢字学習は漢検準2級の水準に達します。読む、書く、聞く、話す、それぞれを3年間でバランスよく習得するのが普通部における国語学習の特徴です。

教科書：東京書籍『新しい国語』

副教材：日本漢字能力検定協会『漢検 漢字学習ステップ』

社会科

地理（1・2年計5時間）では、1年生で世界地理、2年生で日本地理を学びます。グローバルな世界の問題から身近な地域の問題まで、広く学習します。講義ばかりでなく、地図でのまとめや発表も行い、生徒の自主性を伸ばすことを心がけています。

歴史（1・2・3年計6時間）では、身の回りの事象との結びつきや土器や石器などの実物を用いた学習から始めて、次第に高度な歴史資料を扱えるようにしています。全体を通じて、実証史学に基づきながらも、知識偏重に陥らない学習に努めています。

公民（2・3年計4時間）では、新聞記事やインターネットからの情報を活用して、社会の仕組みの基礎を理解できるようにしています。時事的な問題にも関心をはらい、それを学術的なことがらと関連させながら理解できるように努めています。

教科書（地理）：教育出版『中学社会 地理 地域にまなぶ』

教科書（歴史）：帝国書院『社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き』

教科書（公民）：『新しい社会 公民』





数学科

各学年ともに普通部独自のカリキュラムで授業を行っています。内容によって数学Ⅰ(代数・確率・統計)、数学Ⅱ(幾何)に分け、1年生では24人学級での細やかな指導を行っています。

授業では、まず教科書の内容をしっかり学び、基礎力を養成します。その上で発展的内容や応用問題に挑戦して、理解を深めます。ときには教科書を離れて、パズルのような問題で柔軟な思考力を養ったり、実際に立体を作ったりします。

またコンピュータやタブレットを使って、黒板の授業とは一味違った勉強をすることもあります。生徒が自分で問題を作ってそれを互いに解き合ったりすることもあります。こうした一方通行でない授業を通じて、一人一人の数学の世界が広がり、数学の美しさが見えてくることを目指しています。

教科書：学校図書『中学校数学』

副教材：昇龍堂出版 新Aクラス中学代数問題集 新Aクラス中学幾何問題集

理科

理科では、実際に自分の目で見て実物に触れるという体験を重視しているため、毎週2時間の連続した実験授業をしています。実験や観察は毎年20テーマほど行っています。2時間連続にすることで、通常では扱うことのできないような内容の実験にも取り組んでいます。例えば「カエルの神経・骨格標本づくり」「土壌動物の観察」「構造異性体パズル」「マルチテスターの作成」「火山灰の観察」「天気図」「電気分解」「帯電列」「ミミズの観察」です。実験を行った後は実験報告書を課しています。実験の結果をまとめ、疑問点を調べて考察することで、自らが行ったことについての理解を深めてもらいます。また日常生活の中で観察する力をつけるためにフィールドノートを各自が持ち、身の回りの自然観察も行っています。

教室では、実験内容にも触れながら、科学的な思考を身につけられるような授業を行っています。

教科書：大日本図書『理科の世界』

副教材：丸善出版『理科年表』、浜島書店『生物図表』、第一学習社『図説地学』

英語科

英語は、1年生は24人学級で、2・3年生は40人学級を2分割して授業を行っています。

英語科では、学習を「知識や技能の習得」ととどまらず、「共同体への参加を通して得られる役割や過程そのもの」ととらえ、多様な学習歴の生徒が共同して学習する「クラスコミュニティ」の構築に努めています。「聞く、話す、読む、書く」の4技能統合型の授業の中で、言語形式と意味、機能の関係を焦点をあて、生徒の気づきを促します。eラーニング教材、学習マネジメントシステム、授業支援アプリなどタブレット端末を使った学習支援ツールを活用し、プレゼンテーションやスピーキング、多読、暗唱など様々な言語活動を行います。

外国語を学ぶことで、見える世界が広がるということを発見してほしいと思います。

教科書：三省堂『New Crown』※2025年度より光村出版『Here We Go!』へ移行
副教材：年度によって異なります。詳細はお問い合わせください。



教科教育

美術科

美術という言葉を聞いただけで「どうせ自分には才能がないから…」と決めつけて、興味を持とうとしない人は少なくないでしょう。けれども美術は決して才能ある一部の人のものではありません。

絵画、工作など何かを作る時、どうしたら作品が完成するか色々考え計画を立てます。材料をどのように使って、どういう工程を経れば出来るか。途中で失敗することもあるかもしれませんが、その時はまた違う手段を考えて、なんとか完成を目指します。これはまさにプログラミング的思考であり、中学生のうちに是非伸ばしてほしい能力です。

与えられた知識をただ覚えるのではなく、自分自身で問題解決していく力をつけることが、美術の大切な目的です。自らの頭で考え、作品を作り上げた時の達成感を多くの生徒に味わってもらいたいと思っています。

教科書：日本文教出版『1.美術との出会い』、『2・3上 学びの実感と広がり』
『2・3下 学びの探求と未来』

技術・家庭科

モノを作るということは一人になりきる無心の行為です。集中。一枚の布に糸を通し、そして縫い上げる行為。刃物を研ぐ。鑿を叩く。鉋をかける。工作機械を巧みに操る。油をかけた金属の塊を切削する。ヤスリで成形する。ねじ切り加工を施す。そして、材料をただ、ひたすら研磨紙で丁寧に磨き上げる。そんな孤独な行為です。

モノを作ることの対極に破壊があります。それは一瞬で事足ります。しかし、作る行為には時間も労力もかかりますし、なにより汚れます。そんな手間のかかる行為を技術・家庭科では大切にしています。

楽しみながら挫折しながら粘り強くしなやかな対応が出来る。そんな普通部生の育成と重ねて「道具を使って作る」という人間に与えられた基本的特性を大切に伝承していくことを目指しています。

教科書（技術分野）：開隆堂出版『テクノロジーに希望をのせて』
（家庭分野）：開隆堂出版『生活の土台 自立と共生』

音楽科

「自ら音楽表現すること」を大切に、音楽の授業を展開しています。授業は実技演奏中心で行われ、その中で音楽理論・音楽鑑賞等も行います。

1年生では篠笛・和太鼓による日本の伝統音楽の体験やハーモニカ等の演奏体験、2年生ではクラシックギター、3年生では日本語や英語の歌詞によるギター弾き歌いを中心に行っています。またクラス全体で、61個のシューマリック社製ハンドベルの演奏をしたり、合唱したりする大掛かりなアンサンブルも体験します。その楽器演奏を何度も繰り返し練習する過程で、想像力の広がりや効率的練習方法の工夫、何より演奏表現することによって音楽をより身近に感じ取られることを願って授業を展開しています。3月には音楽会があり、有志演奏や3年生のクラス演奏が繰り広げられます。

教科書：教育出版『音楽のおくりもの』





書道科

「書とは文字を素材とした造形芸術」です。普通部では、書道の幅広い活動を通して、文字のもつ「美しさ」を自分らしく表現することを大切に授業を展開しています。

1年生では楷書の基礎と行書の基礎を中心に字画構成、筆の使い方、筆圧の変化、余白の活かし方などを学習していきます。1月には書初め大会が行われ、静寂の中、揮毫を行います。

2年生では主に書の古典の臨書・鑑賞に取り組みます。古典学習では用筆法のみではなく作品の歴史的背景、作者の生き方にも迫り、作品との関連を分析していく学習も展開しています。最終的には楷書、行書それぞれ半切の作品に仕上げしていきます。

3年生では「1文字アート」をテーマとして、現代空間にふさわしい作品のあり方を模索・検討しながら刻字・篆刻・少字数作品等に取り組み、卒業制作としています。

教科書：教育出版『中学書写』

保健体育科

保健体育では、丈夫で逞しい^{たくま}身体づくりを念頭に心身ともに健全な男子中学生の育成を目指しています。成長期にある男子生徒の特徴を考えながら、様々な授業を展開しています。

実技は、球技（ゴール型・ネット型・ベースボール型）、器械体操、陸上競技、水泳、武道、ダンスなど、3年間のバランスを考えながら実施しています。多くの種目に触れながら持久力、瞬発力、巧緻性、チームワークなどを養ってもらいたいと考えています。

保健では、暮らしに関わるテーマ、身体に関する疑問、動きの仕組み等、実技とは異なる視点から学習をしています。自分の生活、身体に興味を持つことは大切なことだと捉えています。

この授業を通して、様々な対応力を養い、生涯にわたり、スポーツ活動に親しめる心と体の育成を心掛けています。

教科書：大日本図書『中学校 保健体育』

コンピュータ科

1年生は週に1時間必修の授業があり、コンピュータ教室でパソコンを1人1台使って授業を行います。インターネット接続は専用線で校内LANを利用して、サーバーに作品を保存しています。

授業はコンピュータ教室やタブレットの使い方、タイピングから始まります。ロボット制御の授業では、ロボットを組み立て、プログラムを転送して、自分の考えている通りに動かします。そして、センサを利用して、ロボットが自分で障害物を避けて動くプログラムを作ります。

Google Formsを利用した自動採点の試験形式の教材作成について学びます。

Visual Basic と Pythonの2種類の言語を学び、その言語を利用したプログラミングで乱数を利用して、自分のアイデアを取り入れたゲームを作成するなど、コンピュータを積極的に使いこなすことを学んでいきます。

✂ 選択授業

視野を広げ、理解を深める



金管楽器



Futsubu News Podcast



金属加工学演習



美術研究



普通部の森造りと自然観察



書 -SHO-



かるた

選択授業は、土曜日の3・4時間目に3年生が受講します。教科の枠にとらわれない多彩な講座が提供されています。それぞれの興味や関心に基づき、学びを深め、視野を広げる時間です。2024年度は18講座が開講されました。

2024年度に開講された授業

	講 座		講 座
1	木管楽器 (クラリネット・サクソ)	10	土に親しむ
2	木管楽器 (フルート)	11	普通部の森造りと自然観察
3	金管楽器	12	コミュニケーション
4	弦楽器	13	文芸
5	複言語	14	入門防災学
6	書 -SHO-	15	Futsubu News Podcast
7	美術研究	16	選択中国
8	金属加工学演習	17	Exploring Cultures Across Borders
9	コンピュータ	18	かるた

※ 授業内容や講座数は年度によって異なります。希望者が多い場合には、面接や選考を行い受講者数を調整することもあります。

専門性

広がる視野

多彩な選択肢

選択授業は実に多様なかたちで展開されます。各分野の最前線で研究をしている方を招いての聴講、美術館や大学研究室への訪問等、その分野の神髄に触れることも大切にしています。

また、自分で調べてまとめたものを発表したり、討論を行ったりという授業もあり、自分の考えをまとめて、発信する力を伸ばしています。



文芸

小説の創作を行います。一年かけて、中・長編規模(文庫本にできるぐらい)の小説作品を作ることが目標です。ファンタジー、ミステリー、時代小説……ジャンルは様々。みんなが作家になる時間です。



コミュニケーション

演劇の手法を用いて、日常生活のあらゆる場面で必要とされるコミュニケーションについて考察します。与えられた環境で自らを活かす術や、他者との関わり方について、気づきを得る時間です。



宿泊行事・国際交流

全員参加

7月に学年全員で行く宿泊行事です。1年生は奥日光、2年生は志賀高原、3年生は富士へ、学校を離れて自然の中で友達と過ごす数日間。普段とは異なる体験はそれだけで貴重な学びです。2025年度より1年生、3年生は行き先が変更されます。



1年生・奥日光林間学校

2年生・志賀高原林間学校

3年生・富士自然学校

希望参加

希望参加の宿泊行事も数多くあります。海浜学校、キャンプ教室、スキー学校、その他に各部会が行う合宿があります。生徒の興味・関心にこたえる機会であるとともに、友達や先輩後輩との絆を強める大切な時間です。



海浜学校

キャンプ教室

スキー学校

国際交流

2012年にフィンランド・トゥルク市の中学校と、2015年にオーストラリアのパース近郊の中高一貫校と、それぞれ国際交流を開始しました。現地訪問と受け入れの相互交流を行っています。国際語である英語を用いて様々な背景を持つ同年代の人たちと意思疎通を図り、友だち同士になる経験は、広い視野で物事を判断することの大切さや、日本や日本人、自分について改めて考える良い機会になっています。

2024年度はフィンランド交流で受け入れを行いました。2025年度はフィンランド交流で訪問を、オーストラリア交流で訪問と受け入れを行う予定です。



✂ 普通部生の1日と1年

1日の学校生活

普通部は週6日制です。月～金曜日は6時限授業、土曜日は4時限授業です。授業は9:00 開始で、朝礼や朝のホームルームはありません。下校時刻は、部会活動参加かどうか、また季節や学年によって変わりますが、最も遅い場合でも18:00 です。

8:00～8:55
登校

8:55までに登校します。登下校の制服は黒の詰襟、靴は黒の短靴、かばんは学校指定のものを使用します。制帽の着用は自由です。



9:00～12:35
1～4時限授業

授業は、教科の特性や内容に応じて、ホームルームだけではなく様々な施設、教室を使います。クラスを分割して少人数で行う授業もあります。



12:35～13:15
昼休み

家から持参したお弁当、自販機で購入したパンや飲み物は、ホームルームで食べます。それとは別に、定食、カレー、麺類が揃う食堂も利用できます。



13:20～15:05
5～6時限授業

すべての教室に電子黒板をはじめとするICTの環境が整っています。黒板とチョークによる講義形式の授業、タブレットやPCを用いた授業、グループワーク中心の授業など、多様な学びを目指しています。



15:05～
放課後・部会活動

教室の清掃後は自由に下校できます。部会活動への参加、教員への質問や相談、メディア・ライブラリーでの調べものなど、下校時刻まで各自が有意義に使います。



普通部の1年

普通部は3学期制です。1年間を通じて様々な行事があり、普通の学校生活とは異なる経験を積むことで、広い視野、豊かな心、強い身体を育てていきます。

* 印は希望参加の行事です。行事は変更になる可能性があります。

4月

- 入学式
- 定期健康診断



5月

- 遠足
- 校内大会
- 野球早慶戦応援 (1年生は全員参加)



6月

- 1年生部会入部受付開始



7月

- 林間学校 (1・2年生)
- 自然学校 (3年生)
- オーストラリア (パース) 国際交流 (隔年)*

8月

- 海浜学校*
- フィンランド (トゥルク) 国際交流*



9月

- キャンプ教室*
- 労作展

10月

- 運動会



11月

- 目路はるか教室
- 多摩川 40km ハイキング*



12月

- 芸術鑑賞会



1月

- 書初め大会 (1年生)

2月

- 入学試験
- 合格発表



3月

- 音楽会
- 卒業式
- スキー学校 (2年生)*
- 演説会 (3年生)



労作展

普通部教育の神髄に触れる

2025年度で97回を迎える労作展覧会(労作展)は、1927年に始められました。自分の力でテーマを見出し、考え、感じ、汗をかき、工夫を重ね、長い時間没頭しながら、一つの作品を仕上げ完成までこぎつける。そういう体験を積ませたいというのが、今日まで変わらぬ普通部の願いです。芸術科目と共に、学術研究も大事な柱。普通部生の多様な問題関心によっては、教科の枠に収まらない作品も出てきます。一生が変わる出逢いもある。それが普通部労作展です。

労作展では、レポート用紙100枚にもおよぶ理科や社会科の研究、あるいは国語科で長編小説や詩に挑戦する人もいます。英語の本を日本語に翻訳しようとひと夏費やす人もいます。毎年テーマを変える人もいれば、同じテーマを3年間丹念に深く掘り下げていく人もいます。労作展での研究をもとに、学会発表へと発展していったものや外部で賞を受けたものもあります。





労作展作品

- | | | | | | |
|----|-------|-------------------------------------|----|-------|--------------------------------------|
| 1 | 美術 | Shonan SDGs ー漂着物で創るイルカー | 12 | 社会 | 裁判傍聴記録 ～犯罪の防止策について心理学から考察～ |
| 2 | 技術・家庭 | 爪楊枝でつくる 1/200 エッフェル塔 | 13 | 数学 | pygame で作った障害物避けゲーム |
| 3 | 美術 | ～ Sagrada Familia ～ 未来に向かって | 14 | 理科 | 葉脈形成のメカニズムを探る |
| 4 | 技術・家庭 | かぎ針ですいすい編める冬もの ハリーポッター編 | 15 | 音楽 | 革命のエチュードの研究～激情を音に紡いだショパン～ |
| 5 | 美術 | ガウディが残した遺言～サグラダ・ファミリア大聖堂～ | 16 | 保健体育 | 勝てるチームを作るには～日本プロ野球のチームの分析～ |
| 6 | 美術 | ウクライナ伝統工芸 "ピサンキ" | 17 | 社会 | 「日本」国家形成の道のり神と祭祀を中心としてー |
| 7 | 美術 | 僕の等身大の Spider-Man - Egg Shell Art - | 18 | 英語 | My Journey Through Eaglebrook School |
| 8 | 美術 | 爬虫類・両生類の世界～写実を追及して～ | 19 | 技術・家庭 | 1:100 スケール慶應義塾図書館旧館
ー 紙粘土製煉瓦積み ー |
| 9 | 美術 | Harry Potter Wizard Chess | 20 | 数学 | Spot It! から見る有限射影平面の世界 |
| 10 | 国語 | 推理小説 雪辱の嵐 | 21 | 書道 | 臨書「書譜」 |
| 11 | 技術・家庭 | 内野手用グラブ | | | |



目路はるか教室

先輩から直接学ぶ

普通部の大きな特徴のひとつは、様々な分野の第一線で活躍する多数の卒業生の存在です。目路はるか教室はそのような卒業生を講師に招いて行う特別授業で、1998（平成10）年の普通部百年を機に始まりました。2025年で28回を迎えます。全学年とも、学年別の「全体講話」と、20～30名程度に分かれて希望の授業を受ける「コース別授業」があります。

第27回（2024年度）目路はるか教室

多彩なコース別授業

各学年の10コースの授業（2024年度は、2年生は9コースにて実施）は、経済、法曹、医療、学術、芸能、マスコミ、スポーツなど多様な分野で活躍する先輩方を講師としてお招きしています。コース決定後は、普通部生が自己紹介、授業で聞きたいことをまとめたものを先輩に送ります。先輩方は、それに基づき授業を組み立ててくれます。コース別授業のほとんどは先輩の職場で行われます。その分野の最前線の迫力を感じ、先輩から直接「生き方」を学ぶ貴重な1日となります。



1年Cコース

1年生コース別授業		
コース	氏名	講義タイトル
A	荒井 宏	ガテン企業からスタバ流おもてなしを ～仕事半生の集大成として～
B	増岡 総一郎	まちづくりの魅力
C	島田 壮	ビジネスの心得武士道にあり
D	磯山 弘典	Banker（銀行家）のすゝめ
E	川澄 正興	未知の世界に飛び込もう！日米の違いと医学研究の魅力
F	神庭 豊久	グローバルビジネスロイヤーの真髓！ ～世界の中心で法を叫ぶ～
G	田邊 研一郎	祝福される先導者になろう
H	別府 一樹	オーケストラは未来の社会に、どう響くのか
I	小口 芳世	メンタルヘルスの時代がきた！ 精神科医が発信したいこと
J	山下 和洋	私は何も覚えていないからこそ、皆さんの記憶に残したい「目路はるか」～Connecting the Dots～

2年生コース別授業		
コース	氏名	講義タイトル
A	鈴木 康裕	ちょっと変わってもいいですか？ ～行政勤務、留学、そして国際機関勤務～
B	戸田 勝久	九州から全国へ、唯一無二のホームセンター、(株)ハンズマンの挑戦と経営戦略「あなたは自分を信じて決断できますか？」～自分の道は自分で拓く～
C	菊池 信太郎	災害が襲ったとき、子どもにどのような影響がおきるのか？ 東日本大震災の経験から
D	島田 豪	300年の歴史を生きた油問屋による、オリーブオイルの真髓
F	福原 義久	どう生きる？ AI時代
G	水谷 恵介	設計者だってコミュニケーションが必要！ ～鉄道車両の設計の観点より～
H	大東 泰雄	企業法務弁護士の世界へようこそ
I	名倉 勝	スタートアップによる日本経済成長の実現
J	坂入 健司郎	オーケストラを指揮してみよう！



2年Jコース



3年Iコース

3年生コース別授業		
コース	氏名	講義タイトル
A	松方 一雄	「やってみなはれ」と「社会貢献」
B	大林 修	野球小僧が挑んだラゾーナ川崎プラザの開発
C	荒井 宣之	音を出さない、クラシック音楽の仕事
D	中島 剛	「在宅医療」の魅力 ～患者さんを「治す」から「支える」へ～
E	日比 康造	色と音で、素っ裸になる
F	高木 岳彦	こどもの手を良くするために ～小児整形外科診療と国際医療支援 mission trip～
G	藤倉 徹也	虎に翼 ～意外と知らない裁判官の仕事～
H	福島 成洋	消費者法を使う・作る
I	橋本 陽	食と人生の美味しい関係 ～横浜中華街のグルメ大使とデブリシヤスなランチ～
J	吉田 将英	自分の未来をデザインする ～「企画とアイデア」をなりわいにする生き方～



全体講話		
学年	講師名	演 題
1 年	山内 慶太	労作展で学んだこと、慶應義塾で学んだこと ～ AI 時代に益々不可欠な力～
2 年	高橋 孝雄	子どもを育む遺伝の力、環境の力、代弁の力
3 年	藤崎 一郎	かまけず おそれず ながされず

(敬称略)



目路はるか教室の記録

第16回(2013年度)から、それまで5年ごとに発刊していた「目路はるか教室の記録」の冊子を毎年刊行することにし、普通部生全員に配布しています。

冊子には、先輩方による講義の記録や普通部生へのメッセージ、講義後の普通部生の感想文など、目路はるか教室の足跡が詳細に記録されています。冊子にはコース別授業、全体講話が3学年分全ておさめられており、他の普通部生がそれぞれのコースで何を感じ、学び取ったか、そして、自分が社会に出てどのように仕事や世界と向きあっていくか、そんなことを考えるヒントや励ましが詰まった冊子です。卒業後も普通部生を支える財産となるでしょう。



部会活動

正課を補う充実した時間

普通部生活を学業とともに豊かなものに行っているのが部会活動です。自分の興味のあることからや趣味に応じて各部会に入部し、活動に励みます。他クラスや他学年の普通部生、教員と交流する貴重な場となっています。同じ興味を持つ者が集い、目標に向けて協力する。そうした活動を通じて、生涯の友人を持つ。これが部会活動の醍醐味のひとつです。



部会一覧表

運動部会（20 部会）

合気道部

アーチェリー部

空手部

弓術部

剣道部

ゴルフ部

サッカー部

山岳部

柔道部

水泳部

卓球部

テニス部

バスケットボール部

バドミントン部

バレーボール部

保健体育研究会

野球部

ラグビー部

ラクロス部

陸上競技部

文化部会（15 部会）

英語研究会

演劇・映画の会

音楽部

棋道研究会

コンピュータ部

書道部

数学研究会

生物の会

地理・GIS 研究会

農の会

美術部

フィールドワーク研究会

物理と化学の会

星と石の会

歴史研究会

多種多彩な部会活動

普通部には運動部会が20部会、文化部会が15部会あります。いずれかへの入部が原則です。1年生では9割が運動部会、3割が文化部会に所属しています。複数部会に所属している普通部生も少なからずいます。

入部制限

入部希望者多数の場合、施設、安全面などの理由から人数制限を設ける部会もあります。このため希望した部会に必ず入れるとは限りません。入部制限を設ける部会は、年度により変わります。

部会活動の位置づけ・日数

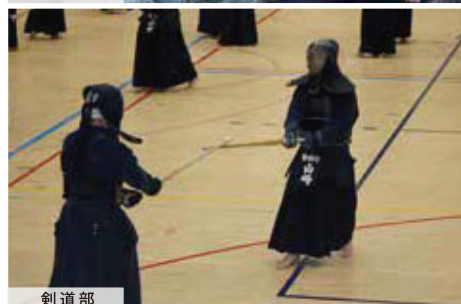
部会活動は正課（授業、学級活動）、課外活動（式典、行事等）に次ぐ位置づけであり、あくまで教育活動の一環であると考えています。試合や大会に参加する等の理由で、授業および学校行事を欠席する場合、公欠制度はなく、補講等も行いません。また、部会の活動日数には上限があり、どの部会も平日（月～土）は3日まで、長期休業中は休業日数の2分の1までです。



1年生向け説明会



山岳部



剣道部



テニス部



ラグビー部



サッカー部



ゴルフ部



バレーボール部



保健体育研究会



バドミントン部



演劇・映画の会



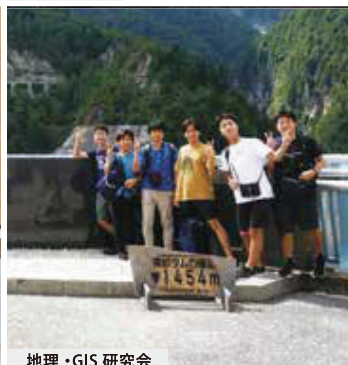
アーチェリー部



野球部



美術部



地理・GIS研究会



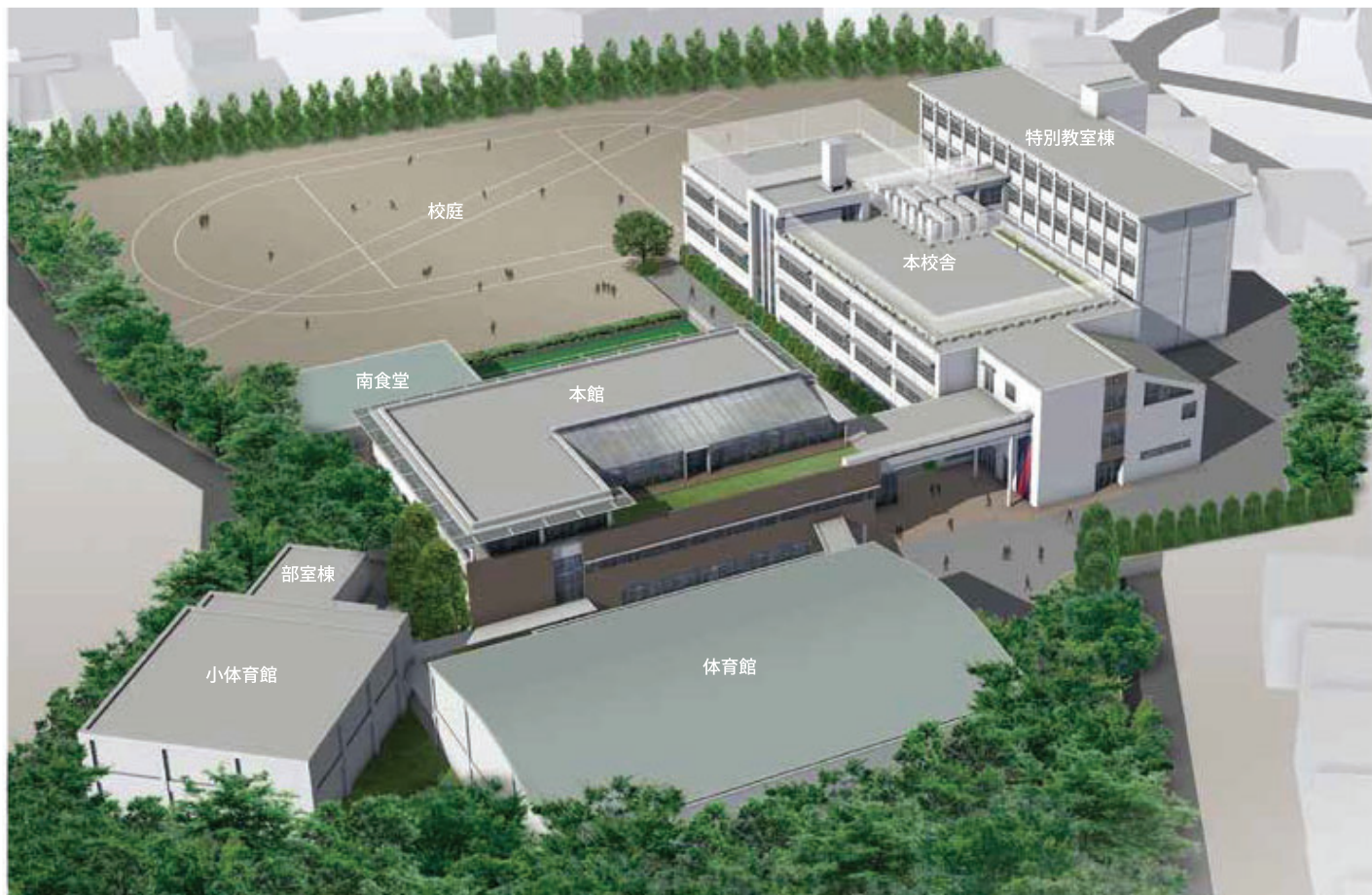
バスケットボール部

一貫教育の縦のつながり

慶應義塾大学の学生や社会人のOBがコーチとして指導にあたる部会が多いのも、一貫教育校ならではの普通部の特色です。「コーチは熱心に指導してくれるだけでなく、いろいろ相談できる」「慶應義塾の縦のつながりを意識し、自分もその伝統に参加できる喜びを感じる」という声を耳にします。小学生から大学生、さらに社会人まで集って活動する全塾合同の練習会やイベントも行われています。また、中部部や湘南藤沢中部部との対抗戦を定期的に行っている部会もあります。



音楽部



本館 1年生教室、目路はるかホール、メディア・ライブラリー（図書室）、ギャラリー、教員室、事務室、保健室、談話室、用務員室、応接室、部長室

本校舎 2・3年生教室、普通教室、コンピュータ教室、AV教室、第3・第4理科室、調理室、北食堂、購買、警備室、屋上

特別教室棟 美術室、技術室、書道室、音楽室、第1・第2理科室、多目的教室、合併教室

体育館・小体育館 柔道場、剣道場

南食堂、部室棟、校庭、弓道場

その他に

第2グラウンド、テニスコート、農園



目路はるかホール

可動式客席（250席）をもつ多目的ホールです。講演会やコンサート、生徒の演劇公演、保護者会など、さまざまな場面で使用されています。また、和太鼓を使う音楽の授業にも使われています。



メディア・ライブラリー（図書室）

開架式で蔵書4万2千冊と各種データベースを備えた図書室です。6人用机と自習机があり、休み時間、放課後を使って、調べ物等によく利用されています。また、DVDや音楽を視聴できるAVブースも設置されており、ゆったりとした読書、学習環境が整えられています。



本館



本校舎



ギャラリー



1年生教室



2・3年生教室



コンピュータ教室



第3理科室



音楽教室



購買



南食堂

昼食は家庭より持参したお弁当を食べるのが原則ですが、食堂も利用することができます。北食堂はパンや飲み物の販売を行い、南食堂は日替わりランチやカレーなどを提供しています。



体育館



柔道場 (小体育館1階)



剣道場 (小体育館2階)



校庭



第2グラウンド



テニスコート



ウェブサイト・出願・入学

ウェブサイト（普通部ホームページ）

ウェブサイト（<https://www.kf.keio.ac.jp/>）にて、普通部の歩みや学校生活、過去の労作展、目路はるか教室の様子などを、写真とともに発信しています。

募集要項・出願

2026 年度入学試験（2026 年 2 月実施）の募集要項は、2025 年 9 月頃に普通部ウェブサイトに掲載します。

出願には次の ①、②の手続きが必要です。

① 出願情報入力および入学検定料支払（インターネット・2025 年 12 月～1 月）

② 出願書類郵送（2026 年 1 月）

一方のみでは出願は完了しませんのでご注意ください。

その他、受験生の方への最新情報は、随時普通部ウェブサイトにて発信します。

募集人員

男子約 180 名（内部進学者数により変動）

入学試験

●期日 試験 2026 年 2 月 1 日（日）

●内容 筆記（国語、社会、算数、理科）、面接試問（本人のみ）、体育実技

●筆記試験の配点と時間および得点状況（2025 年 2 月 1 日実施結果）

	国語	社会	算数	理科	合格最低点
配点（点）	100	100	100	100	246
時間（分）	40	30	40	30	
合格平均点	67.9	67.4	63.6	67.0	
平均点	58.6	58.4	53.0	55.1	

●面接試問 複数の面接官が面接を行います。質問内容は年により、面接官により異なります。

●体育実技 年によって内容は変わりますが、柔軟体操のあと簡単な運動を行ってもらいます。

●入学試験結果

入学年度	2021	2022	2023	2024	2025
応募者数	603	605	587	569	675
受験者数	563	575	557	526	630
合格者数	195	205	195	195	189
繰上候補者数	70	70	68	71	68

※面接の方法・内容等については公表していません。



学費・費用

普通部に在学中、必要な学費等はおおよそ以下の通りです。これ以外にかかる費用としては、部会活動の費用などがあります。以下の費用は実績年度がそれぞれ異なるため、年度によって変動する可能性があります。

納付金

	1 年	2 年	3 年
入学金	340,000 円		
授業料 *1	930,000 円	930,000 円	930,000 円
教育充実費	210,000 円	210,000 円	210,000 円
普通部会費 *2	15,000 円	15,000 円	15,000 円
保有金 *3	約 95,000 円	約 55,000 円	約 85,000 円
林間・自然学校費用	約 63,000 円	約 63,000 円	約 62,000 円
普通部独自の物品 *4	約 100,000 円		
合計	約 1,753,000 円	約 1,273,000 円	約 1,302,000 円

*1：前・後期に分けて分納できます。

*2：図書資料整備費、行事運営費用、部会活動等に使用します。

*3：副教材、芸術鑑賞会・遠足費用、傷害・賠償保険料、南食堂光熱水費等に使用します。

*4：iPad、通学鞆、スモック、体操服（ウオームアップジャケット、ストレートパンツ、半袖シャツ、ハーフパンツ）、運動靴 2種の合計額です。制服は、指定された型の詰め襟であればボタン以外の指定はありませんが、普通部でお求めの場合 42,800 円となります。

希望参加の行事費用

名称	費用（概算）	対象学年
海浜学校	22,000 円	1 ～ 3 年生
スキー学校	95,000 円	2 年生
キャンプ教室	8,000 円	1 ～ 3 年生
フィンランド国際交流プログラム	350,000 円（訪問時）	2 ・ 3 年生
オーストラリア国際交流プログラム	350,000 円	2 ・ 3 年生

奨学金 *

名称	条件	支給額	給付／貸与
小泉信三記念奨学金	成績・品行優秀であり、かつ経済的事情で学業の継続が困難な者（第 2 学年以上）	授業料の全額または半額	給付
2000年記念教育基金奨学金	A. 教育援助型 経済的事情により学業の継続が困難となった者	授業料半期分の範囲内	給付
	B. 国際交流援助型 経済的事情を抱えながら、各一貫校が主催する短期留学・国際交流プログラムに参加する者	国際プログラム参加費の実費の範囲内（50 万円を限度）	給付

* その他各種補助金等もあります。くわしくは事務室までお問い合わせください。

寄付金、学校債 *

名称	金額	備考
普通部教育充実資金	任意の金額	
慶應義塾教育振興資金	一口 3 万円、 できでしたら二口以上	
慶應義塾債	一口 10 万円、できでしたら三口以上	大学卒業時、大学院修了時または慶應義塾離籍時に償還

* 寄付金、学校債ともに任意です。いずれも入学手続き後に募集いたします。

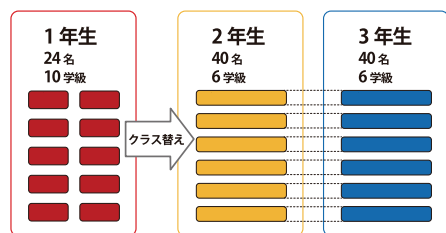
✂ 普通部の特徴

少人数学級

普通部は、1年生24名10学級、2・3年生40名6学級、全校生徒数720名規模の学校です。授業は、ホームルーム単位で、1年生は24名を基本に行います(2クラス合併の授業もあります)。2・3年生は40名を基本に、教科によってはクラスを分割し少人数教育を実施しています。下位クラスの生徒の動機づけ向上が難しいこともあり、習熟度別授業は実施していません。共同学習や学習コミュニティーの形成に注力し、「学び合い、教え合い」のできる学習環境の構築に努めています。

クラス替え

1年生から2年生へ進級する際、クラス替えが行われます。2年生から3年生へはクラス替えはありません。



教養の時間

毎週水曜日の6時限目に「教養」という授業があり、学級担任が担当します。自分自身に関すること、人とのかかわり、集団・社会あるいは生命や自然とのかかわりに関することについて、クラスで話し合いなどを行い、それらを通じて普通部生としてのあり方について考えていきます。



補習

補習授業の制度はありませんが、授業担当者やクラス担任が個別の学習相談、質問に随時対応しています。

わからないことがあるときは友人や先生に質問ができる、困ったときは先生に気軽に話ができる、そうした環境を通して自分なりの学習のやり方を身に付けてほしいと考えています。

進級・再修

成績は、各科目5段階評価で、年3回、学期末に通知されます。期末試験を中心に、小テスト、レポート、提出物、平常点などが評価の対象となります(保健体育、芸術科目は通例、期末試験を行いません)。

入学してしまえば、何もしなくても自動的に進級できると誤解する人がいますが、学年ごとに「再修」の制度があり、進級基準に満たない場合は進級できません。なお、再修できるのは1回のみとなっています。

保護者会・授業参観

普通部にはPTA組織がありませんので、保護者の方の負担はありません。保護者会が年間5回(1年生は6回)あります。保護者会では、普通部長の話、校医の話などがあり、クラス担任との懇談や保護者面談が行われます。日頃の学習状況や学校生活について、ご家庭との連絡を密にとり、教育効果を高めています。授業参観は1年生の1学期に行われ、授業の様子を知る機会となっています。



健康管理

保健室は、大学保健管理センターと連携しており、保健師、校医(小児科医)が在室しています。また、林間・自然学校には医師と看護師が同行するなど、生徒の健康には万全の注意を払っています。心理面については、スクールカウンセラーがカウンセリングを行います。そのほか、スポーツ専門医によるスポーツ医学相談(年3回)、保健体育の授業で救急救命の基礎を学ぶBLS(Basic Life Support)講習があります。

食物アレルギーについて、学校として特別な対応はしていませんが、校医の助言を受けることができます。

通学圏

東京都	59.3%
神奈川県	36.5%
その他 埼玉県、千葉県、静岡県	4.2%

2025年1月現在

長期欠席

一定の条件を満たした場合に限り、最長4学期間までの長期欠席を認めています。詳しくはお問い合わせください。

チューター制度

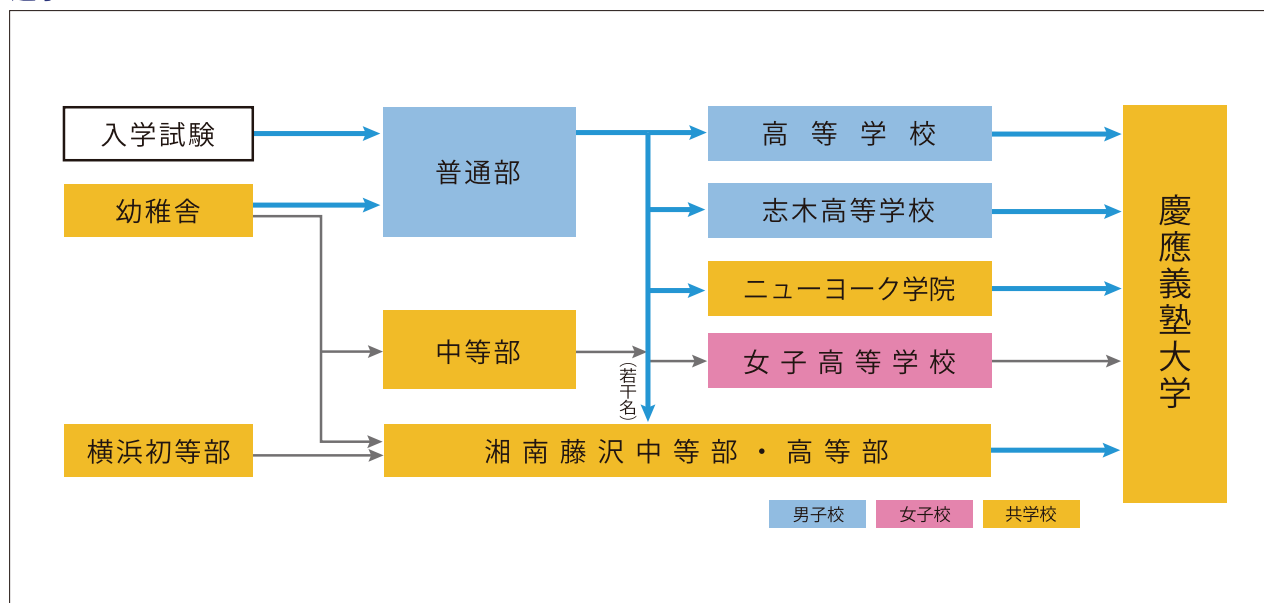
始業前と放課後に普通部OBの大学生がチューターとして学習支援をしています。授業内容や課題について、時には学校生活の悩みなど親身に寄り添ってくれる存在です。

進学

普通部の卒業生は、慶應義塾高等学校、慶應義塾志木高等学校、慶應義塾湘南藤沢高等部、慶應義塾ニューヨーク学院（高等部）の中から希望する高校を選ぶことができ、普通部長の推薦により進学します。なお、湘南藤沢高等部への進学者数については制限があります。

高校卒業後は、各高等学校長の推薦により慶應義塾大学へ進学します。学部ごとに人数の上限が設けられているため、第一希望の学部には推薦されないこともあります。学部推薦の詳細については、各高等学校へお問い合わせください。

進学

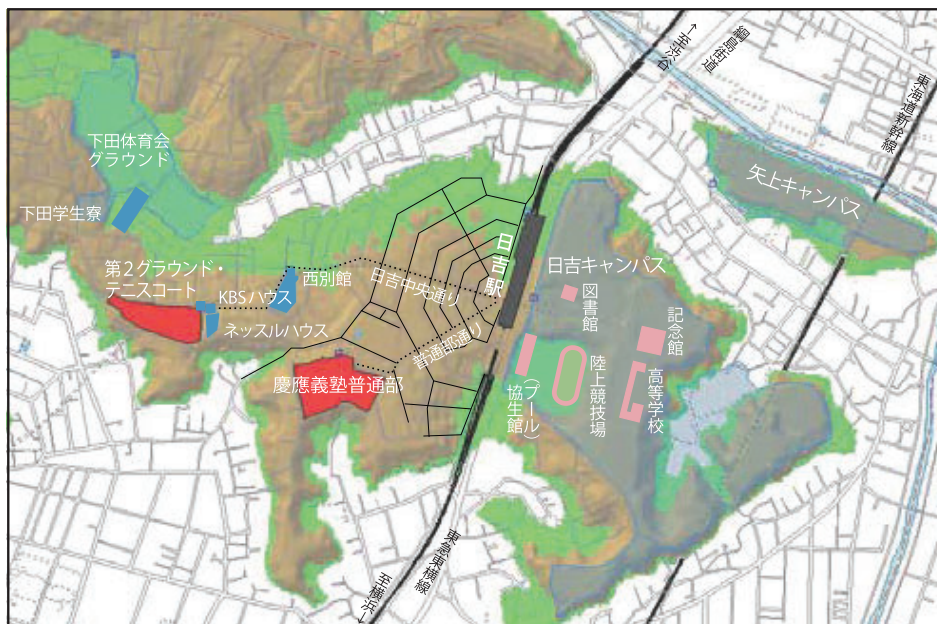


卒業生の進路

卒業年度	2020	2021	2022	2023	2024
慶應義塾高等学校	225	228	234	225	224
慶應義塾志木高等学校	2	2	0	1	5
慶應義塾湘南藤沢高等部	6	0	3	8	1
慶應義塾ニューヨーク学院	0	0	0	0	3
その他	0	2	0	0	2



日吉周辺図



東急東横線・東急目黒線・東急新横浜線・横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅下車 徒歩 5 分

日吉駅へは、渋谷から 22 分（急行 18 分）、目黒から 22 分（急行 17 分）

横浜から 16 分（急行 11 分）、あざみ野から 16 分、新横浜から 6 分

※東急東横線の特急は日吉駅に停車しません。

慶應義塾普通部

Keio Futsubu School

〒223-0062 神奈川県横浜市港北区日吉本町 1-45-1
1-45-1 Hiyoshi-honcho, Kohoku-ku, Yokohama 223-0062
<https://www.kf.keio.ac.jp/>

TEL 045-562-1181(代表)
+81-45-562-1181

FAX 045-562-8279
+81-45-562-8279

